

土・ひと・くらしをつなぐ、香川の交流誌

き ら り

3

2021 MARCH

「らいふスペシャル」
農産物と、元気を届けたい！
「JA香川県の地域社会貢献活動」

「あぐりスペシャル」
花は、人を癒し、元気づけてくれるパートナー
「がんばってます！」
「香川の花づくり」


**JA香川県は
自己改革に
取り組んでいます！**

農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化

JA香川県では
「新型コロナウイルス
感染症対策本部」を
設置し、感染防止に
取り組んでいます。



細やかに、愛情込めて
育てるランタンキュラス。
“一生、楽しむ農業”を！

がんばって
ます!

あぐり special

花は、人を癒し、
元気づけてくれるパートナー

「香川の花づくり」

新型コロナに揺れた、令和2年度。農業分野にもさまざまな影響が出ましたが、とりわけ花き業界は大量の花が消費されるイベントなどの自粛が続き、深刻なダメージを受けました。この間、当JAでは国や自治体の緊急対策の申請支援などを行い、JAの施設等に花を飾り、職員は県産花きの購入も行いました。

野菜や果物と異なり、なかなか「生産地」が消費者の目にふれることが少ない花づくりの世界ですが、県内で多く栽培されている花をご紹介します。



キク黄
「精興光玉」



キク赤
「美吉野」



キク白
「精興の誠」

キク

出回り時期／周年

香川県では、瀬戸内の温暖な気候を生かして古くから花の栽培が行われていました。中でも、小豆島が昭和25年に電照ギクの試作に成功して以来、キクは県を代表する花き品目として最も多く生産されています。

セレモニー需要の高い大輪の輪菊のほかにも、アレンジメントや生け花に人気の小菊やスプレー菊など、さまざまな品種が栽培されています。

生産量／約545万本

主な品種名／「神馬」「精の一世」「精の光彩」「美吉野」

主な産地／中央・小豆・仲多度・豊南地区

花言葉／「高貴」「高尚」



「ゆずてまり」



「雪てまり」



「茜てまり」



「恋てまり」

ラナンキュラス

出回り時期／11～3月

「てまり」シリーズ 香川県オリジナル

香川の生産量
全国 **3** 位

香川県農業試験場で育成された、県オリジナル品種。蕾の形が手毬に似ていることから名づけられ、現在、10品種あります。ラナンキュラスは近年、切り花用として人気が高く、全国的に需要が拡大しています。

生産量／約136万本

主な品種名／「茜てまり」「ゆずてまり」「雪てまり」「恋てまり」

主な産地／県内全域

花言葉／「とても魅力的」

カーネーション

出回り時期／スプレーカーネーション9～7月、
通常のカーネーション周年

「ミニティアラ」シリーズ 香川県オリジナル

香川県農業試験場で育成した、剣咲きタイプのスプレーカーネーション。小さくて可愛い花の形がティアラを思わせることから「ミニティアラ」と名づけられ、現在、10品種あります。従来のカーネーションとは異なる、アレンジメントや生け花など新たな需要も拡大している品種です。

生産量／約153万本

主な品種名／「リトモ」「ルメイユ」「ミルキーウェイ」

主な産地／綾坂地区

花言葉／「夢が叶う」「希望」



「スパークリングオレンジ」



「ミルクホワイト」



「ライラック」

マーガレット

出回り時期／10～5月

香川の生産量
全国 **1** 位

主に三豊市の荘内半島(詫間町、仁尾町)で栽培され全国シェアは約60%を誇り、北は東北から南は沖縄まで全国へ出荷されています。色は純白が9割以上で、見ごろを過ぎても花びらが落ちないことから受験生などに向けてPRを行っています。

生産量／約122万本

主な産地／三豊地区

花言葉／「恋占い」

「心に秘めた愛」



ヒマワリ

出回り時期／周年

香川の生産量
全国 **3** 位

県内で生産されるヒマワリの多くは、草丈70センチ程度で花の直径が10センチ前後と小さく、色も多彩な切り花用品種。出荷期間も夏だけでなく長期にわたります。「母の日にカーネーション」のように「父の日にはヒマワリ」を贈ろう!という風習も年々定着しつつあります。

生産量／約129万本

主な品種名／「ビンセントネーブル」「サンリッチオレンジ」「ビンセントボメロ」

主な産地／中央・綾坂・三豊・豊南地区

花言葉／「あなただけを見つめる」





美保さんは嫁ぎ先の高松市内から、ことでんを乗り継いで週5日通っています。親子での花づくり、うれしそうなお父さんです

花姿の愛らしさで人気上昇中 キク名人が家族で挑むランンキュラス

かわち すすむ
河内 進さん(72歳)

JA香川県東部地区花卉部会
【丸亀市飯山町】

藤田 美保さん

河

内進さんは、花き栽培歴33年、数々の受賞歴がある生産者です。奥さまと長女の藤田美保さんの3人で花づくりに励んでいます。

もともとキク専業で、15[㍓]を栽培していた河内さん。そこへ5年前、香川県中讃農業改良普及センターや当JAの花き担当者に紹介されたのが、ランンキュラスです。徐々にキクからの転作を進め、現在は5[㍓]がランンキュラスになりました。香川県オリジナル品種「てまり」シリーズ6品種など、8品種を栽培しています。

河内さんは「キクとはまた違った管理の苦労がありますが、キク作りの設備や経験を生かして栽培しています」と話します。

栽

培にはキクを作っていたハウスを転用しており、かん水には、もともと使っていた「かん水パイプ」を活用しています。葉が土に触れると病気になるやすいので、色の変わった葉を取り除く細やかな作業が必要です。また、温度と湿度の管理も重要で、外気温に応じてこまめにハウスの開け閉めを行い、送風機で風を循環させています。さらに、立つたまま収穫できるキクに比べ、腰をかがめての作業になるのが大変だそうです。

実は、ランンキュラスに惚れ込んで導入を主導したのは、娘の美保さんだったとか。「オリジナル品種の種類(花色)が多く、花もかわいいですよ。それに、立ち本数が多くて作りやすそうだな、と思ったことがきっかけです」と美保さん。実際には、ランンキュラスの

栽培は高度な管理が必要とされるのですが、河内さんの経験と技術力、そして美保さんの丁寧な管理が合わさって、高品質のランンキュラスが生み出されているのです。

そ

んなランンキュラスを、愛情込めて育てている様子の河内さん一家。最後にこんなメッセージを送ってくれました。

「今、コロナ禍で皆さんストレスを抱えていると思います。花は嗜好品ではありませんが、花を飾ることで心が元気になる、ストレスが緩和される方も大勢いると思います。ぜひ、お花を飾ってみてください!」。



2019年第55回香川県花き品評会で農林水産省生産局長賞を受賞しました

河内さんが栽培するランンキュラスは、丁寧に管理され品質には定評があります。地元の「丸亀ハーフマラソン」などイベントでもよく使われています

がんばって
ます!

花は、人を癒し、
元気つけてくれるパートナー
「香川の花づくり」



森さんは、土を使わないロックウール栽培を採用。水は、山のきれいな伏流水を利用しています



「花づくりは明るく楽しく、元気よく!」 カーネーションを極める若きリーダー

農事組合法人 綾川花卉園

代表 **森 健人**さん(36歳)

香川県農業協同組合綾歌南部花卉部会 副部会長
【綾歌郡綾川町】

20

歳の時に就農して17年目になる、綾川花卉園の代表を務める森健人さん。綾川花卉園の経営は、ハウスでカーネーション約1畝と、ランキユラスやユリを約10畝、ほかに露地で小ギクやヒマワリも。これだけの面積を理事3名と従業員、研修生など合わせて常時10数名で管理しています。父の博文さんは、同園の立ち上げをサポートした元JA職員で、その後、退職して運営にも関わ

るようにまりました。そんな父親の背中を見て、抵抗なくこの道に入ったそうです。

森さんは、香川県農業協同組合綾歌南部花卉部会の副部会長のほか、一般社団法人日本花卉生産協会カーネーション部会の理事、香川県カーネーション協会会長も努めています。「日本で流通しているカーネーションは2000品種。そのうち花卉園で栽培しているのが70品種。香川県オリジナルの『ミニティアラ』シリーズは10年ほど前に導入し、今は8品種作っています」という、まさにカーネーションのエキスパートです。

そ

んな森さんは、「ミニティアラはよい花ですが、育て方に少し癖があります」と言います。たとえば、根が薄いため、大きく色よく育てるためには通常の品種より多めの肥料や水が必要です。一株から何本も花が取れますが、それぞれ生長のタイミングが違うため、ピンチという作業で開花時期を管理して順次切っていきます。管理の仕方でも生長状況によって異なるため、手間がかかります。また、ナデシコ科の特徴として横に広が

ろうとして自立できないため、ネットで支えて育てます。このようにピンチ、ネット入れ、芽かきなど、カーネーション栽培にはほかの花にはない苦労があるそうです。

そんな多忙の中でも、少しでもPRができればと、販促イベントにもよく参加しているという森さん。「食育」ならぬ「花育」にも熱心で、10年以上、地元の保育園の園児を対象に植え付け体験を行い、その苗から育てた花をプレゼントしたり、花摘み体験や卒園式のコサージュづくりなどを行っています。

花

は、人に贈ると必ずと言ってよいほど喜んでもらえます。それも、ただのモノではなく気持ちがかもった贈り物になります。母の日にカーネーションを贈るのは誰もが知っていますが、記念日でなくてもいいことがあった日とか、感謝の気持ちを込めて花を贈ることが、暮らしの中に当たり前にある習慣になればと願っています」と、熱い思いを語ってくれました。



収穫した花は、鮮度を保つため冷蔵庫で保管して出荷を待ちます。綾川花卉園の花は3月28日オープン予定の当JAファーマーズマーケット「讃さん広場滝宮店」でも販売されるそうです



農産物と、 元気を届けたい！

～JA香川県の地域社会貢献活動～

JA香川県は、取り組んでいる地域活性化プランの一環として、農産物の提供などを通じて地域社会に貢献する方法を検討してきました。令和2年度は、香川県社会福祉協議会を通じて「ひとり親パートナーズ」の活動「マッチングDAY」に野菜や果物を提供しています。

当

JAは、第6次中期経営計画の「地域活性化プラン」の中で「ひとり親家庭を中心とする子どもの食事難や孤食に対し、社会福祉協議会と連携して子ども食堂の支援に取り組み、栄養のある食事や温かな団らんの提供に貢献することとして、検討を続けていました。ところが、長引くコロナ禍のため、各地の「子ども食堂」の活動は困難な状態が続いています。

そこで、社会福祉法人香川県社会福祉協議会から「ひとり親パートナーズ（NPO法人子育てネットひまわり内）」を紹介され、「マッチングDAY」への協力を決めました。同団体は、コロナ禍で不安や困り事をかかえる香川県のひとり親（シングルマザー、シングルファザー）と子どもたちのために、令和2年4月から毎月1回、企業や個人から募った支援品の配布会を行っています。当JAは第2回の5月から農産物（野菜、果物）などの提供を始めました。

届

けている野菜や果物は、当JAの集荷場やファーマーズマーケット「讃さん広場」に生産者から出荷された新鮮なものです。回を追うごとに会場や利用者が増え、それに対応して提供数量も増やし、どんなものが喜ばれそうかなど利用者の立場に立って考えながら選んでいます。

また、令和2年5月には、政府の緊急事態宣言と県の休業要請などでアルバイト時間を削減された学校法人穴吹学園の留学生を支

えるため、中央ふれあい市場古高松店の出荷会員から無償提供された野菜や果物などを配布しました。

今後も、同社会福祉協議会との連携を密にして、当初計画していた「子ども食堂」への支援も含めさまざまな社会貢献活動を展開し、農産物を通して地域社会に貢献できればと考えています。



香川県子どもの未来応援ネットワーク
社会福祉法人 香川県社会福祉協議会
地域福祉課 専門員

乃万 由佳さん

農産物などの生鮮食品は一般企業では支援しにくいものなので、JA香川県さんがとびきり新鮮な農産物を提供してくださるのは本当にありがたいです。特に、果物は「わが家では、嗜好品なのでなかなか買えない」という家庭も多く、子どもたちは大喜びです。野菜は「少量のカット野菜を買っている」という家庭も増え、大きなキャベツやブロッコリーなど丸ごとの野菜を初めて見たという子もいて、この活動は食育にもなっているのだと実感しました。

「マッチングDAY」は、支援品（物）の配布だけに留まらず、相談事など心の交流ができる場です。「気にかけてくれる人がいることを知って元気が出ました」という利用者さんもいます。これからも、ひとり親に限らず地域社会のさまざまなニーズに目を向けて、JA香川県さんとも連携して地域を明るくする取り組みを行っていきたいです。



「マッチングDAY」に提供した農産物セット



ひとり親パートナーズ
代表 田中 佐緒さんに
聞きました。

野菜や果物は健康な食生活の基礎。
受け取る親も子どもたちも笑顔に。

「ひ

ひとり親パートナーズ」は令和2年
4月から毎月1回、「マッチング
DAY」と名付けた支援物資の配布と、交
流相談会を行っています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
各所で開催されていた「子ども食堂」が開催で
きなくなり、同時にひとり親家族では、学校の
休校で子どもが家にいるため親が働きに出る
ことが困難になったり、給食がないので昼食
の食材費が家計の負担になったりという困り
事が多く聞かれるようになっていました。

そこで、企業や個人から集まった物資、寄付
金、各種助成金を利用して支援品の配布会
を始めました。回を重ねるごとに利用者が増
え、会場も現在は高松市内2か所と丸亀市、
さぬき市の4か所に拡大しました。

野

菜や果物は、健康的な食生活の基礎と
なる食品なので、JA香川県さんか
ら鮮度のよい野菜や果物を提供していただ
けるのは、とてもありがたいです。

12月の配布会では、大人の顔くらい大きい
キャベツの入った袋を、小さな子どもがお手
伝いで持つてあげていました。1月のブロッコ
リーも、子どもたちは大好きですね。また、果
物は「自分では買わない」という家庭が多く、
とても喜ばれます。8月に豊南の大きなナシ
を提供していただいたときは「果物を食べる
のは久しぶり」という親御さんと、大喜びする
子どもさんの姿が見受けられました。

今後とも、どうぞよろしく願います。

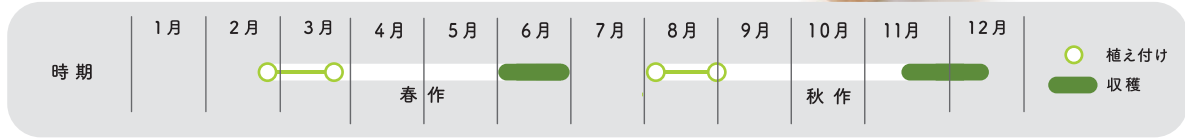
※配布会は事前予約制で、入場を15分に1〜2組にして密集を避けるなど、コロナ感染防止を講じて開催しています

- キャベツはお好み焼きにして食べました。シャキシャキしてとってもおいしかったです。
 - JAさんがあざあざ車でお野菜を届けてくださっている姿を見かけました。たくさんの方々のご厚意に感謝しています。
 - 子どもにたくさん野菜を食べさせられます。
 - コロナ禍で生活が安定しないで気持ちも落ち込みがちの中、本当に助かります。
- 私たちを応援してくれる人からいただいた支援物資、という事に元気が出ます。
- たくさんの支援品に、娘が「ありがたいね」と真剣な顔で言いました。

JAの
農産物提供に
感謝の声
がたくさん
届いています

今月は

ジャガイモ

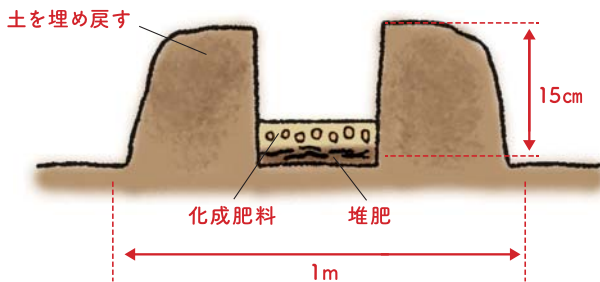


1 畑の準備

畑は、深めに荒起しをして、1㎡当たり苦土石灰150gを施す。

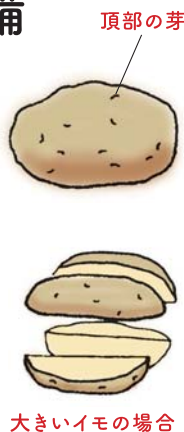
2 畝作り

ジャガイモは生育期間が短いので、元肥を主体に施す。畝の中央部に深さ15cmの溝を付け、元肥（1㎡当たり化成肥料150g、堆肥2kg）を施した後、5cm土を埋め戻す。



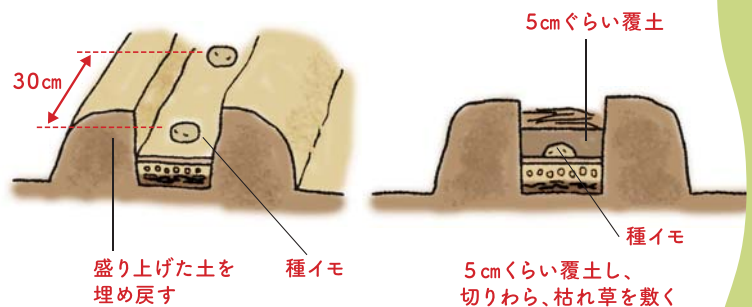
3 種イモの準備

卵大のイモなら二つ切りにする。頂部に芽が集中しているので、頂部が各片に入るように切る。大きいイモは縦に四つ切りにし、どの切片にも頂部近くの芽がついているようにする。切った種イモは2～3日、日に当てて緑化、切り口を乾燥させると早く芽が出る。



4 植え付け

種イモは切り口を下にして並べる。盛り上げた土を埋め戻す。



5 間引き

一つのイモからたくさん芽が出るので、草丈10cmになったら生育のよい2本を残して間引く。

●アブラムシなどの防除は早めに行う。

ポイント!

6 追肥・土寄せ

間引きが終わったところ、株元に1回目の追肥をする。その15日後に2回目の追肥と土寄せをする。追肥は、1回目、2回目とも1㎡当たり化成肥料を50～60g施す。

●土寄せが不足すると、イモが露出して緑化してしまう。

ポイント!

7 収穫

葉が黄色くなってきたころ、晴れた日に収穫する。収穫したイモは、日陰で乾かしておく。



ホームページ <http://www.kw-ja.or.jp/>

JAグループ
耕そう、大地と地域の未来。



JA香川県
Facebook



JA香川県
Instagram

